

地域を支える高齢者福祉施設・社会福祉法人と都民を結ぶ

# アクティブ福祉

第59号 社会福祉法人東京都社会福祉協議会  
2024年11月発行 東京都高齢者福祉施設協議会 機関誌



高齢協  
ウェブサイト  
はこちら♪



## 特集

### 密着！アクティブ福祉 in 東京'24 —開催報告と結果発表—



▲アクティブ福祉 in 東京'24 開催会場の様子

\*今号では前半にアクティブ福祉 in 東京に関連した内容、後半の分科会 TOPICS で「人材（確保・育成・定着）」をテーマとした内容を盛り込んでいます。



▲うわさの施設 アクティブ福祉 in 東京'24 優秀賞 代沢あんしんすこやかセンター

## 東京ケアリーダーズが行く！ うわさの施設 …………… 4

- |                            |                                       |
|----------------------------|---------------------------------------|
| ● 東京ケアリーダーズ活動紹介 …………… 5    | ● 軽費分科会トピックス …………… 13                 |
| ● 教えて！福祉・介護の「学校」 …………… 6   | ● センター分科会トピックス …………… 14               |
| ● 高齢協トピックス …………… 7         | ● 職員研修委員会トピックス …………… 15               |
| ● #介護の魅力を発信してみた …………… 8    | ● 福祉・介護の魅力にまつわる<br>なんでもエピソード …………… 16 |
| ● Join us！イベントのご案内 …………… 9 | ● 編集後記・<br>読者モニターからのご意見 …………… 16      |
| ● 専門委員会リレートーク …………… 10     |                                       |
| ● 養護分科会トピックス …………… 12      |                                       |

# 密着！アクティブ福祉 in 東京'24 —開催報告と結果発表—

## 高齢者福祉実践・研究大会「アクティブ福祉 in 東京」とは

日頃の介護現場での取り組みや実践、施設全体での研究や個人・グループによる研究など、小さな発見から大きな実践まで施設での様々な取り組みを学会形式で発表するための大会です。施設・在宅の枠を越えて学び合い、専門性を高め合うことで、東京の高齢者福祉の質の底上げを目指すことを目的に開催しています。

本大会は、2006年初回開催以降毎年開催されてきましたが、2020年はコロナの影響で中止、2021年、2022年はオンライン配信型での開催でした。昨年集合形式での開催を再開し、今年は19回目の開催となりました。

## 第19回高齢者福祉実践・研究大会「アクティブ福祉 in 東京'24」について

・日時：2024年9月25日（水）10時00分～15時40分

・場所：京王プラザホテル（新宿）本館4階・5階

・大会スローガン：JUMP！

\*ともに学び、気づきを得ることで、一緒に大きく飛躍【JUMP！】ができるような大会となるようにというメッセージが込められています。

・参加人数：829名（学生含む）

\*昨年度比で約160名増の参加者数となりました。

・プログラム



時間	内容	
10:00   14:15	<p><b>【口演発表】</b> 実践・研究の内容をパワーポイントにまとめ、1題15分で発表 7会場・全47題（うち学生発表4題） テーマ： ・地域包括ケア・地域貢献・地域共生社会（1会場・8題） ・次世代を見据えた人材採用・育成・定着／広報戦略（2会場・14題） ・日常ケアの向上（3会場・20題） ・科学的介護の実践・生産性向上の取り組み（1会場・5題）</p>  <p>▲口演発表会場の様子</p>	<p><b>【企業ブース出展】</b> 福祉用品・福祉機器等を取り扱う企業の出展 21社</p>  <p>◀出展の様子</p> <p><b>【東京ケアリーダーズ ブース出展】</b> 「ケアトーク～現職介護士と話そう～」</p>  <p>*当日は特別企画として、シールラリーを開催！ 出展企業や東京ケアリーダーズからシールを集めた方に景品をプレゼント</p>
14:30   15:40	<p><b>【ステージイベント】</b> ・会長挨拶 ・講演 タレント 加藤 綾菜氏 「生活のモチベーション・食事の工夫」 ・表彰式 口演発表の優秀演題を表彰</p>	 <p>◀ステージイベント会場の様子</p>

ホームページから、大会報告や口演発表演題・抄録をご覧いただけます。

ご参加いただいた皆様、大会運営にご協力いただいた皆様に、心よりお礼申し上げます。

大会ホームページはこちら▶





## 「アクティブ福祉 in 東京'24」 口演発表審査結果

各賞の受賞者には賞状とトロフィーが授与されました。

### 👑 優秀賞

テーマ（口演発表会場）ごとに、高齢者福祉分野における見識を持つ者によって審査を行い、総得点が1位のものを優秀賞として表彰します。

会場	テーマ	施設・事業所名	発表者	主題
1	地域包括ケア・地域貢献・地域共生社会	世田谷区代沢あんしんすこやかセンター（(福) 奉優会）	川口有美子さん 内藤麻里さん	法人後見受任への挑戦
2	次世代を見据えた人材採用・育成・定着／広報戦略①	TOKYOの未来を創る社会福祉法人協力会	片桐恵子さん 内山彰吾さん	複数法人の協働による人材確保
3	日常ケアの向上①	第二光陽苑（(福) 泉陽会）	市川弾さん 榎本大さん	ご利用者1人ひとりに合わせた排泄物品の選定と施設現場からの改善案の提言
4	日常ケアの向上②	ひのでホーム（(福) サンライズ）	清水卓さん 山内清正さん	介護職員が現場でどのようにシーティングを行えるようになるか
5	科学的介護の実践・生産性向上の取り組み	砧ホーム（(福) 友愛十字会）	小谷野祐樹さん 三浦好顕さん	機能訓練指導員主軸の会議が実現した、福祉機器導入による生産性向上成功事例の一考察
6	日常ケアの向上③	白十字ホーム（(福) 白十字会）	南部未央さん 久保昌美さん	特別養護老人ホームにおける誤嚥性肺炎予防のための多職種協働の取り組み
7	次世代を見据えた人材採用・育成・定着／広報戦略②	青葉台さくら苑（(福) 三交会）	守安祐文さん 新田正伸さん	独自の「日本語教育プログラム」の開発

### 👑 日本介護福祉士養成施設協会東京部会 奨励賞

都内の介護福祉士養成施設で学ぶ学生から日頃の取り組みを発表いただきました。今大会のすべての学生発表を表彰します。

学校名	発表者	主題
日本社会事業大学	加藤 遥依さん、廣崎 結華さん	農業や動物を通じた世代間交流の取り組み
武蔵野大学	ベティト ジョンレイ ワメルダさん、 ダウグダウグ メリーアン パブレオさん	留学生の「コミュニケーションができるようにする」ために
日本福祉教育専門学校	栗原 幸太郎さん、中村 颯さん	学校でカフェを開き、地域の方との交流の輪を広げる
日本福祉教育専門学校	後藤 真人さん	教育と福祉の親和性



▲口演発表 優秀賞受賞の皆さん



▲日本介護福祉士養成施設協会東京部会 奨励賞（学生発表）の皆さん

## 次年度大会について

次年度は関東ブロック老人福祉施設研究総会と合同開催です。節目の第20回大会を一丸となって盛り上げていきましょう！

- ・日程：2025年6月12日（木）～13日（金）
- ・場所：【1日目】東京ビッグサイト国際会議場 【2日目】TOC有明4階・20階
- ＊12月6日（金）まで口演発表者を募集中です。ご応募をお待ちしております。
- ＊一般参加やプログラム詳細は、決まり次第、大会特設ページで公開いたします。



大会特設ページはこちら▶

# 東京ケアリーダーズが行く！

うわさの  
施設

東京都高齢者福祉施設協議会の数ある会員（約1200施設・事業所）のうち、表彰や推薦など、名誉ある経験を持つ施設を紹介するコーナー。毎回「うわさ」の施設を東京ケアリーダーズが取材します。

その33

2024年開催 第19回高齢者福祉実践・研究大会「アクティブ福祉 in 東京'24」  
第1会場「地域包括ケア・地域貢献・地域共生社会」優秀賞  
社会福祉法人奉優会 世田谷区代沢あんしんすこやかセンター

## 法人後見受任への挑戦

法人による成年後見の枠組みを外部の組織と連携してつくりあげた代沢あんしんすこやかセンター。

前例の少ない新しい取り組みが評価され、「アクティブ福祉'24」で優秀賞を獲得しました。

今回は、発表者である社会福祉士かわぐち ゆみこの川口有美子さんと内藤麻里さんないとう まりにお話を伺いました。

### — 今回の研究のきっかけをお聞かせください

**内藤**：後見人を増やそうという国の成年後見制度の計画の変更や、社会福祉法人による社会貢献に対する期待向上など、2021年に再度取り組む機運が高まったことです。

### — 社会福祉法人が法人後見を進める困難はどのようなことがありましたか

**内藤**：様々なリスクがあります。例えば家族が後見人となる場合は社会的な納得度は得やすいのですが、法人だと利益を出すための誘導をするのではないかと家庭裁判所（以下「家裁」）に捉えられかねません。他にも法的トラブル発生時の対応への不安、地域包括支援センターの事業領域と重なる部分の分別など、諸々ありました。

### — それをどのように解決されましたか

**川口**：法人全体で弁護士の先生との勉強会等を実施しました。私たちは片付けはできても、そこで証券を見つけたときなどに財産を処理することは慣れていないため、どう対応するかは専門家の意見を仰いでいます。

### — 外部組織との連携についてお聞かせください

**内藤**：まずは区の社会福祉協議会に相談しました。対象者と法人が直接やり取りをすることはリスクがあるため、区や成年後見センターと調整を重ねて枠組みをしっかりと固めました。例えば対象者の選定では法的に難しいケースを避け、区の住民調整会議などで外部の方が判断します。

### — 法人内ではどのような調整を行いましたか

**川口**：以前からチームで議論をしましたが、リスク回避を重視しすぎて行き詰まったため、一度メンバーを解散し再編成しました。また、法人全体が集まる場や管理職研修などでの活動周知により、法人の後押しを得られたと思います。



▲取材の様子 左：内藤麻里さん、中央：川口有美子さん、右：番本鷹也さん（東京ケアリーダーズ）

**内藤**：家裁は私たちの「やりたい」という想いとは別の、法律的な尺度で考えます。例えば成年後見を任せるに足る（≠不祥事を起こさない）信頼の審理のために、経営状況を示せる様々な書類の提出を求められ、慣れない作業に戸惑いました。

### — 今後の展望をお聞かせください

**川口**：団塊世代が後期高齢者を迎え、団塊ジュニア世代の介護離職が増える可能性があります。弁護士だけでは人数的に対応しきれない中、身近な権利擁護の枠組みがあれば介護離職の減少につなげられるのではないかと思います。

— 0から1の取り組みを作ることは多くの壁がありますが、外部と連携してそれを乗り越えられたことに深い敬意を表します。今後、このような事例をモデルとして後見人制度自体に法人後見のカテゴリが加わる将来があると感じます。本日は大変勉強になり、ありがとうございました。



\*この記事のより詳しい内容は高齢協ホームページの「機関誌アクティブ福祉デジタル」でお読みいただけます。  
<https://www.tcs.w.tvac.or.jp/bukai/kourei/activefukushi/digital/index.html>

社会福祉法人奉優会 世田谷区代沢あんしんすこやかセンター（代沢地域包括支援センター）

所在地：〒155-0032 東京都世田谷区代沢5-1-15代沢まちづくりセンター内

■取材：東京都高齢者福祉施設協議会 東京ケアリーダーズ 番本鷹也さん（博水の郷）

■記録・編集：東京新聞 木下 聡文

代沢あんしんすこやかセンター  
ホームページ▶







# 東京ケアリーダーズ

## 活動紹介



### 東京ケアリーダーズとは？

東京都内の高齢者福祉施設・事業所で働く若手介護職員によるユニット「東京ケアリーダーズ」。メンバー全員が特別養護老人ホームやデイサービスセンターなどの高齢者福祉施設で働く現役の介護職員です。自分たちの言葉で「介護の仕事の魅力」を伝えることを目的に活動しています。

## ～アクティブ福祉 in 東京に参加して～

社会福祉法人サンライズ 特別養護老人ホームひのでホーム ケアサービス部 マネジャー

東京ケアリーダーズ さくらだ こうへい  
櫻田 康平

皆様こんにちは。東京ケアリーダーズの櫻田です。

私がケアリーダーズに所属して4年が経ちました。コロナの影響もあり、参加することが今までできませんでしたが、9月25日におこなわれたアクティブ福祉 in 東京に東京ケアリーダーズとして初めて参加し、東京ケアリーダーズのブースとして「ケアトーク～現職介護士と話そう～」と題し、来場者の方々とお話しする場を設けていただきました。ブースには学生さんや現場で働いている介護職の方、東京ケアリーダーズに興味を持ってくれた方等、約30名もの方が来てくださいました。

学生さんからは介護の仕事のやりがいや業務の内容の質問だけでなく、学生さんの介護への想い等を聴く事ができ、自分自身の介護への想いや、初心に帰る事の大切さを思い出し、振り返る事ができました。

同じ介護職の方とは現場での悩みの共有や情報交換をおこなう事で「自分たちだけじゃないんだ」と感じることができたと共に解決の糸口を見出す事ができました。

本来の目的である介護の魅力発信だけでなく、たくさんの方とお話しすることで、様々な視点や考え方を知りとても有意義な時間となりました。



▲アクティブ福祉 in 東京のブースの様子

東京ケアリーダーズは令和5年度、令和6年度と研修会の開催をしていますが、今後どのような活動ができるのか、していきたいのか等、現在会議を通し検討しています。東京ケアリーダーズの目的や方向性を振り返り、令和7年度には東京ケアリーダーズらしい活動をしていきたいと考えていますのでご期待ください。

また、東京ケアリーダーズでは一緒に活動してくれるメンバーを募集しております。私達と一緒に介護の魅力を発信し、介護業界を盛り上げていきましょう！

今後も東京ケアリーダーズ一同をよろしくお願いたします。



▲東京ケアリーダーズの皆さん  
(アクティブ福祉 in 東京の会場にて撮影)





# 福祉・介護の学校

高齢者福祉実践・研究大会「アクティブ福祉 in 東京（以下、「アクティブ福祉）」では、施設職員だけでなく学生の口演発表も行われ、多くの学生にご参加いただいています。高齢者福祉の今後の担い手となる学生たちに、学びや経験を深めていただくとともに、都内施設が行う、より良い介護を目指した魅力ある取り組みを伝える機会となっています。

アクティブ福祉に例年ご参加いただいている福祉・介護人材を養成する学校に、学校の紹介とともに、アクティブ福祉への参加の経緯や学生の反応について教えていただきます。今号では、武蔵野大学 別科（介護福祉士養成課程）より、寄稿いただきました。

## 武蔵野大学 別科（介護福祉士養成課程）

### 学校紹介

武蔵野大学別科（介護福祉士養成課程）は、西東京市にあります。学生は留学生が多く、2年間という限られた期間に介護における実践力を身につけ、自分自身の成長を実感し、更なる目的を持って介護現場で活躍して欲しいという思いで養成にあたっています。

### アクティブ福祉参加の経緯

施設の職員の方々の実践研究発表会に参加させていただいた時に、理解できるか不安でしたが、学生同士で感想を話しており、理解できることがわかりました。今回、学生にはハードルが高いかもしれないと思いながらも何か感じ取れるものはあるだろうと願い、参加をさせていただきました。

### 学生が発表をするようになった経緯

授業でグループワークを多く取り入れたり、学内で報告会を行ったりしてきました。その中で、学生たちはパワーポイント作成も含めプレゼンテーションに慣れており、発表する場では、モチベーション高く取り組むことがわかりました。より自分自身の成長の実感を得る場として、大きなチャンスであると感じ、応募させていただきました。

### 学生の反応

発表するという貴重な体験をさせていただくため、準備段階から休み時間なども自主的に取り組んでいました。緊張すると言いながらも、一生懸命に向き合い、自信に溢れ生き生きとした表情をしているのが印象的でした。また、卒業生が発表をしていて、新たなつながり、目指す未来の姿を感じられたようでした。他の学生にとっても参加して雰囲気味わい、十分刺激的な経験になりました。

### 最後に

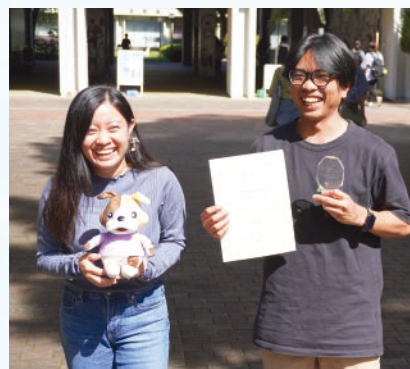
ご多忙の中、現場で活躍されている方々が、実践に関する研究をし、実践されていることを根拠として示しながら発表している姿、多くの方が参加されている姿を見て、学生自身も就職後も自己研鑽する場があると意識づけができました。今後も機会があれば、参加させていただきたいと思います。



▲会場前にて参加学生の皆さん



▲発表の様子



▲大学にて発表者のお二人

寄稿：武蔵野大学 別科（介護福祉士養成課程） **おのうち ともこ** 小野内 智子 氏

# 高齢協トピックス



東京都高齢者福祉施設協議会(高齢協)

## 公式SNS 投稿募集中!

あなたの施設の魅力を高齢協の公式SNSで発信してみませんか?  
写真と原稿(本文・メッセージ文)を投稿フォームよりお寄せください。



Facebook

会員施設の情報や委員会等の報告を掲載中!  
あなたの施設の事業やイベントを教えてください☺

Facebook, Instagram

[投稿フォームはこちら](#)



Instagram

会員施設の身の回りのこと、会員施設で働く職員の  
日常などの写真をアップしています📷



X(旧 Twitter)

朝礼で使える今日の記念日、施設のごはん紹介、  
高齢協に関するお知らせなどを発信中🐾

『#うちのごはん自慢』

[投稿フォームはこちら](#)

高齢協 X 企画『#うちのごはん自慢』作品募集中!

介護施設・事業所のごはん、メニューを教えてください。



フォロー、いいね!  
チャンネル登録  
よろしくブル🐾



高齢協HP、SNS

高齢協の活動、会員施設・事業所の情報発信をしています。法人・事業所の情報発信に高齢協 SNS をご活用ください! 上記 SNS のほか YouTube チャンネルもあります📷

《問合せ先》 社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当  
TEL:03-3268-7172 FAX:03-3268-0635 E-Mail:kourei@tcs.w.tvac.or.jp



# #介護の魅力を発信してみた

東京の介護ってすばらしい  
グランプリ 2023  
写真部門



## 「花束より素敵な笑顔」

(福) サンライズ 特別養護老人ホームサンライズ大泉 しまざき みさき 嶋崎 美咲



この写真の背景には卒寿の花束を贈る施設長、ケアワーカーさんの歓声、ご入居者の皆さんの笑顔がありました。私はこの写真を見るたび、あのときの空気感が思い出されて優しい気持ちになります。

福祉の現場は外から見えにくいので、写真を通して心に残るシーンを切り取ることができたらいいないつも思っています。写真とともにメッセージを発信することで、私も福祉の種をひとつ播けたような気がするからです。ケアワーカーさんの働く姿はとても美しく、一人ひとりが仕事に捧げる使命感と、寄り添うご入居者との絆に思わずファインダーを覗きながら涙が出ることもあります。そのような心温まる瞬間を、これからも発信していきたいと思います。

東京の介護ってすばらしい  
グランプリ 2023  
写真部門



## 「笑顔いちばん」

(福) ほうえい会 特別養護老人ホーム栄光の杜 きのした あつし 木下 淳

【グランプリ参加の経緯】 介護の仕事は、向き不向きはあると思いますが、私自身とても魅力的だと感じています。その理由のご入居者様と日々の生活を共にする中で、嬉しいことや楽しいこと、時には悲しいことなど、同じ日が二度とないことだと思えます。

この写真は職員とご入居者様が一体となり楽しんだ運動会での一枚です。童心にかえり、トロフィーを掲げた笑顔は、介護の魅力を伝えるのにぴったりだと感じ、「東京の介護ってすばらしいグランプリ」に応募させていただきました。

【受賞した感想について】 この度、このような賞を賜り、大変光栄に思っております。栄光の杜で生活されているご入居者様の素敵な笑顔が多くの人に見てもらえることは嬉しく、職員のモチベーションにも繋がります。

私事ですが、若い頃から写真が趣味で様々なものを撮ってきました。景勝地や歴史的建造物を撮るのもいいですが、感情や生活の一瞬を捉える人物撮影はやはり格別です。

これからも介護の魅力を「写真」という形で発信していきたいと思います。



東京の介護ってすばらしい  
グランプリ 2023  
写真部門



## 「いいでしょう〜?」

(福) 杉樹会 特別養護老人ホームさんじゅ阿佐谷 ながゆみ やこ 長弓 弥子



『介護』は大変な仕事であるというイメージを持たれがちですが、『介護』は素敵な仕事であり、やりがいのあるとても魅力的な仕事であることを多くの方々へ発信できたらと思い、応募させていただきました。

私にとって、ご利用者様・職員の笑顔を見ることは、仕事への活力となっています。

幸せになる笑顔。これからも当たり前前の日常の瞬間を大切に、ご利用者様・職員のおふれる笑顔にふれながら、多くの方々へ介護の魅力を発信していきたいと思っています。

— 「東京の介護ってすばらしいグランプリ 2024」の募集は P.9 をご覧ください。 —



Join us!

# イベントのご案内



動画部門

レシピ部門

コラム部門

写真部門

東京の介護ってすばらしい

# グランプリ

2024

多様な場面にスポットをあて、介護の魅力を広くPRする、年に一度のグランプリイベント。介護の魅力を伝えたい人なら、どなたでも応募OK! 優秀作品には豪華な賞金・賞品をご用意しております。ぜひ奮ってご応募ください!



皆さん、奮ってのご応募  
お待ちしております!



**応募期間** 2024年9月25日(水)～2024年12月4日(水)

<b>募集部門</b>	動画部門 / 写真部門 / コラム部門 / レシピ部門
<b>賞金</b>	最優秀賞 <b>5万円</b> / 優秀賞 <b>3万円</b> / 入賞 <b>1万円</b> <small>※部門ごとに決定します。※各部門、最優秀賞1作、優秀賞2作、入賞3作の予定です。</small>
<b>応募資格</b>	東京の介護の魅力を伝えたい方ならどなたでも (ご利用者・ご家族・一般の方・職員など)
<b>応募方法</b>	特設サイトの申込みフォームからご応募ください。
<b>特設サイト</b>	開催概要・申込みフォーム・過去の受賞作品がご覧いただけます。➔
<b>発表</b>	各部門の受賞作品は、2025年3月頃、特設サイトにて発表・掲載を行います。



**その他、豪華賞品あり**

**エコバッグ等**  
豪華な賞品をご用意!

詳細は随時特設サイトとSNSでお知らせします!

YouTube、Facebook、Instagram、X (旧Twitter) やってます!

**お問い合わせ** 東京の介護ってすばらしいグランプリ2024

主催：社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会 (情報・広報室)  
事務局：社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当 URL <http://koureikyo.com/> メール [tokyokaigo-gp@ifys.jp](mailto:tokyokaigo-gp@ifys.jp)

# 専門委員会リレートーク

## 第26回 災害対策検討委員会

東京都高齢者福祉施設協議会内の専門委員会\*に所属する委員から、委員会の活動内容や、ご自身の法人・施設・事業所でのホットな話題、新しい取り組み、他施設に教えたいたい情報を伝えるページです。

災害対策検討委員会 担当副会長  
社会福祉法人緑友会 小川ホーム  
こばやし  
施設長 小林 美穂

### 「ぼうさいこくたい 2024 in 熊本」への出展

災害対策検討委員会として、「東京都高齢者福祉施設協議会の自然災害に備える取り組み」を伝えるため、今年初めてぼうさいこくたいにポスター展示で参加させていただきました。

この防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）は、内閣府等が主催し、産学官民の関係者が日頃から行っている防災活動を発表し、交流する日本最大級の防災イベントです。今年は10月19日、20日の2日間、熊本で開催されました。

日本最大級の防災イベントだけあり、会場も3か所あり全国からたくさんの方がワークショップやブース展示、ポスター展示などで参加されており、また防災に関心のある方がとてもたくさん参加されていました。

災害対策検討委員会の委員が順番でポスター展示の説明にあたりましたが、高齢協の取り組みに興味を持ってくださり、全国の区市町村の防災担当者や大学の研究者、災害のコンサル会社の方や災害対策・ボランティアに関心のある学生など、計93名の方々と交流することが出来ました。

ポスター展示をすることにより高齢協の取り組みを知ってもらえることが出来、ある程度の成果が出せたのではないかと思います。

しかし、たくさんブース展示やポスター展示、講演などで全国の取り組みや体制などのお話を聞かせてもらい、それぞれの地域性や特性などの違いがあるので、人口の密集している首都圏ならではの災害対策をより検討していかなければならないと強く思いました。



▲ぼうさいこくたい会場の様子



▲ぼうさいこくたい会場の様子



▲ぼうさいこくたいでの高齢協のポスター展示

\*制度検討委員会、経営検討委員会、施設管理検討委員会、利用者支援検討委員会、人材対策委員会、災害対策検討委員会の6つの委員会の総称。各委員会には都内各地域の高齢者福祉施設より20名前後が委員として集まり、それぞれのテーマに沿った協議や研修会の開催等を行っています。



## 熊本地震の被災地を視察して

甚大な被害が発生した熊本地震の震災遺物の展示や被災の様子など当時を振り返り、防災について学ぶ、熊本地震 震災ミュージアム KIOKU に行かせていただき、被害の大きさを改めて実感させていただきました。

崩落した阿蘇大橋の橋げたの様子、地震の被害がそのまま残っている旧東海大学阿蘇キャンパスの様子、がけ崩れで潰れた車などどれも胸が痛くなる思いをしました。

その中でも潰れた家の屋根に穴の開いた写真があり、それは生き埋めになった高齢者の寝室を知っていた近所の方の通報で、ワンポイントで屋根に穴を開け救助したとのことで、日頃より地域のつながり、住民同士の助け合いが大切であることも改めて痛感しました。



▲熊本地震 震災ミュージアム KIOKU (旧東海大学阿蘇キャンパス・がけ崩れで潰れた車)

▲潰れた家の屋根に穴の開いた写真

熊本地震や豪雨経験を踏まえた災害対応拠点機能の向上のため、県庁敷地内に整備された熊本県防災センターにも行き、「防災リーダーの役割と自助意識を高めるために！」の要点の研修及び施設内見学をさせていただきました。

地震は、いつ・どこにいても突然起こるものと肝に銘じ、そのことを正しく知り、施設のある地域を知り、どの程度の被害が予測されるかをあらかじめ調べておき、備えていくことが最大の防御であること、災害にどう対応するのではなく、災害にどう準備するかが大切であることなど、たくさんのことを勉強させていただき、今後の災害対策検討委員会において役に立たせていきたいと思っております。



▲県防災センターでの講義





# 人材確保の現状について

社会福祉法人東京蒼生会 養護老人ホーム万寿園

施設長 久保 幸江

## 当施設について

養護老人ホーム万寿園は、養老施設弥生寮（定員 30 名）が前身で、東村山市富士見町に老人ホーム万寿園（定員 236 名）を開設。1983 年 4 月、建物の老朽化に伴い定員を 150 名に縮小し養護老人ホーム万寿園が開設され、軽費老人ホーム第三万寿園（定員 50 名）を合築で併設。合築は都内で 1 か所です。

2021 年以降、措置入所の減少が顕著になり、2022 年 4 月から契約入所を開始しました。

それ以降も措置入所は厳しい状況が続き、現在も欠員増加が続いています。

## 人材確保について

主な求人方法は、ハローワークや外部向け掲示板のポスター掲示、新聞折込み広告も利用し、人材紹介会社や派遣会社にも依頼しています。

採用への繋がりは、早朝の調理パートや清掃パートの募集には掲示板のポスターへの反応が良く、施設前にある「万寿園」というバス停、目の前の掲示板が活躍しています。ですが、支援員や看護師の常勤職員採用には大変苦勞している状態で、紹介会社を利用することが多くなりました。紹介会社によって対応がまちまちで、また手数料も想定年収の 15%～30%と幅があるので、法人内の他事業所と情報共有しています。また、養護や軽費を知らない方も多く、介護保険施設との違いや入所者の状況などの説明が必要なこともあります。



▲バス停前の外部向け掲示板

## 職員の処遇改善について

令和 6 年、新たな「住居支援特別手当事業」により、介護保険法に基づく介護サービス提供施設及び事業所には、東京都から住居支援特別手当の支給が決まりました。今までの介護報酬改定や処遇改善交付金や加算に加えて、待遇格差は広がるばかりです。

養護や軽費も、虐待や居住地からの立ち退きによる一時保護、要介護者や透析や在宅酸素等の在宅医療が必要な方や、精神に障害をお持ちの方の入所など多様化しています。私たちも、そうした入所利用者の多様なニーズに応えられるよう、日々利用者と向き合っているのです。



養護老人ホーム万寿園  
ホームページ▶







# 人材定着について当法人の取り組み

社会福祉法人博愛会  
ケアハウス・デイサービスセンター ハーモニー松葉

施設長 あさり 浅利 ようへい 洋平



福祉は、対人サービス業で顧客に個別性があり自動化が難しく、人による専門性や技術が必要な労働集約型産業です。福祉サービスは、どんなに科学技術が発展したとしても、人にしかできない面があります。福祉の仕事はそれだけ高い専門性が求められ、やり甲斐のある魅力的な仕事であると思います。

そんななか、多くの事業所で「人が足りない」との声が聞こえてきます。なぜでしょうか。

一つの要因として待遇面の低さが一般的に挙げられます。今でこそ待遇面は改善されつつありますが、高待遇でなくても福祉業界に来られるのは、社会や人の役に立ちたい等のやりがいを求めているからではないでしょうか。そんなモチベーションが高い人材はぜひ確保したいところです。

しかし、入社しても職場内で言いたいことが言えずにストレスを感じたり、解決できずに悩んだり、法人理念へ共感できずにモチベーションが下がったり等で離職するケースがあります。そのような人材を定着させるための当法人の取り組みをご紹介します。



▲ハーモニー松葉 施設外観

## 1on1ミーティング

職員が何を感じてどんな思いで働いているのかを表出する場、施設長と相互理解をする場として、1on1ミーティングを今年度から開始しました。従来、人事評価に合わせて面談を年2回行っていました。上司から部下への評価のフィードバックが中心でしたが、1on1ミーティングでは、15～30分程度で部下が決めたテーマを基に施設長と対話する、あくまでも部下が主体の面談として設定しています。テーマは業務以外のプライベートや健康面などなんでも良く、頻度は年に2回です。フィードバック面談と含めると合計年4回面談を行うこととなります。率直に話すことができるようなプライバシーへの配慮は必要です。

## 事業計画の共有

年度初めに全職員に対して、事業計画を共有します。その中で施設長から毎年度、法人理念やビジョンを伝えています。目の前の業務に追われると働いている意義が分からなくなることがあります。そのため、法人として何を重要視しているのかという価値観、あるべき姿を理解してもらい、遣り甲斐をもって業務にあたってもらうことが大切だと思います。

2つの取り組みはともに、部下とのコミュニケーションを強化する手段になります。日頃から雑談レベルでコミュニケーションが取れていることも重要と思います。ご参考になれば幸いです。

ハーモニー松葉  
ホームページ▶





# 法人を支える「人材確保・育成」の取り組み

社会福祉法人西新井だいわ会  
足立区地域包括支援センター西新井

たなか けん  
**田中 健**

## 人材確保と職場のつながり

当法人では、これまで人材確保に関して特に大きな課題を感じることはありませんでした。職員がリクルーターのような役割を担い、その紹介を通じて職員採用に繋がったケースも少なくありません。実際、職員の中には親子や兄弟で一緒に働いている方々もおり、こうした関係性が職場の雰囲気をもより良くしています。

また、当センターではチューター制度を導入しています。同職種の先輩が主に指導にあたっていますが、チームとしての関りも大切にしており、役職や職種の枠を越えて相談がしやすい事も強みのひとつです。職場全体の風通しが良く、困ったことがあれば即席のカンファレンスが開催されるなど、職員同士のコミュニケーションが活発に行われている事も特徴のひとつです。

## 新たな学びと職員育成の可能性

先日、地域包括支援センター委員会主催で研修が行われ、これまであまり焦点を当てられなかった包括の記録について学びました。

意見交換の中で、しっかりとした指導を受ける事なく記録業務に携わっている現状など多くの課題や工夫を共有する有意義な時間となりました。その中で印象的だったのが、「新任職員と指導者が同じ記録を書き比べる事で互いの学びに繋げる事ができた。」という好事例のお話でした。

当センターではそれらの学びを活かし、職員間で記録方法の違いを互いに共有し業務を見つめ直す事により、新たな職員育成のスキームづくりに繋がればと検討を進めている最中です。



▲8月27日に開催した「包括の記録」についての研修の様子

足立区地域包括支援センター西新井  
ホームページ▶







# 人材育成研修委員会の活動について

人材育成研修委員会委員長  
社会福祉法人至誠学舎立川  
至誠ホームスオミ・ケアハウス

いのうえ ふじこ  
園長 井上 富士子

## 今年度の研修

今年度も高齢者福祉施設職員を対象に「チームマネジメントを学ぶ研修会」と「中堅職員のためのスキルアップ研修会」の2つの研修を行っております。コロナ禍ではWEB研修を余儀なくされましたが今年度から「集合での研修」に戻って開催しております。

## 活動内容

今年度開催した2つの研修について紹介します。

### 1. 高齢者福祉施設におけるチームマネジメントを学ぶ研修会

研修を通じて「介護現場の問題解決」、「チームリーダーシップと部下・後輩の指導・育成」、「自己のキャリア形成」を中心に、職場の中核的存在としての能力を向上させることを目的としています。

この研修は17年間一貫して取り組んでいる研修で700名以上の受講生を輩出しています。今年度は7月3日スタートアップ研修、10月23日フォローアップ研修、個別面談、2025年2月5日グレードアップ研修と8か月間をかけての研修です。今年度は各施設からの推薦をうけて33名が受講しています。

### 2. 高齢者福祉施設における中堅職員のためのスキルアップ研修会

現場の仕事を中心に進めている職員を対象に中堅職員の職場定着とスキルアップを目指していくことを目的としています。2024年11月6日に開催し、大勢の方の参加がありました。



▲これまでに開催されたスタートアップ研修の様子

以上の2つの研修の講師は、(株)エイデル研究所の丹羽 <sup>にわ</sup> <sup>まさる</sup> 勝先生です。開催当初から継続して講師をしてくださっています。グループワークも取り入れ受講生の皆さんの求めているものを的確に丁寧に講義してくださっています。

人材不足の現況の中でどこの事業所も人材確保にご苦労なさっていることでしょう。人材確保もさることながら「人材をいかに育成するか」は重要課題と言えます。そのような意味でも人材育成研修委員会の果たす役割が大きいと痛感しています。

# 福祉・介護の魅力にまつわるなんでもエピソード

機能訓練指導員研修委員会 幹事

社会福祉法人福陽会 特別養護老人ホームサンシャインビラ

機能訓練指導員 **かね 金子 けい 佳太**

## 本当の想いを知る事で

私は、サンシャインビラに入職し機能訓練指導員として働いて今年で6年目になります。

私には、今でも仕事をする上で大切にしている事があります。それは入職してすぐに出会った利用者様Tさんとの日々でした。

Tさんは片麻痺のある男性で、機能的に平行棒の中で歩くことがやっとという状態でした。当初私は、前職員から引き継いだリハビリを行っていました。一緒にリハビリをしていくうちにTさんからの言葉も増え、リハビリに対しても積極的になっていきました。

そんなある日「桜の季節になったら歩いて見に行きたいな」とTさんが話してくれました。その時から「桜の季節に歩く」事を2人の目標にしてリハビリに励みました。平行棒から介助歩行、伝い歩き、シルバーカーと段階を踏み、最後はサイドウォーカーで歩けるまでになりました。

そして桜の季節になり、散歩に行った時、Tさんは車椅子から立ち上がり、桜の木の近くに自分の足で歩き桜を見ることが出来ました。

私は入職当初リハビリとは拘縮予防、疼痛緩和、機能維持を提供出来ればよいと考えていました。しかし、信頼関係を築くことで目標や夢を引き出し、高齢になっても目標に向かってリハビリに臨むことで、希望や生きがいも与えられる事に気付きました。

今でもリハビリの際には利用者様の「本当の想い」を引き出せるように関わり、利用者様が生活の中で目標や希望を持てるような仕事を心掛けています。



### 読者モニターからのご意見（一部抜粋）-58号-

- ▶ 壮絶な現場の写真が多く、状況がわかりやすかった。(特集)
  - ▶ 文字数が多く、紙面から圧迫感を感じるレイアウトになっていると感じた。(特集)
  - ▶ 大変良い写真が掲載されており、流石と思われた。( #介護の魅力を発信してみた )
  - ▶ 受賞したコラムの本文を広報誌に載せてもらえると、インタビューの内容ももっと共感出来るようになる。(うわさの施設)
  - ▶ エピソードに感動した。(福祉・介護の魅力にまつわるなんでもエピソード)
- ▶ いただいたご意見はよりよい機関誌発行のために活かしてまいります。

### 編集後記



高齢協機関誌アクティブ福祉59号をお読みいただきありがとうございます。様々な変化や多様性への対応が求められる中、本号の刊行が、今後の高齢者福祉の発展に寄与するものと期待しています。特集で取り上げた実践・研究会「アクティブ福祉in東京」については、本年度の大会テーマ「一緒に大きく飛躍「JUMPER」が、来年以降も続くよう一緒に頑張りましょう。最後にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

社会福祉法人 正寛会  
小島 直彦

高齢協公式 SNS 更新中♪  
フォロー、  
よろしくお願いします 🐾



Facebook



HOUREIKYOU



高齢協公式  
@TokyoKourei



高齢協会長  
@koureiyou



東社協  
東京都高齢者  
福祉施設  
協議会

